

電子カルテネットワークの現状と課題 ～Human Bridgeを活用して～

地方独立行政法人大牟田市立病院 地域医療連携室
○田島裕也 北嶋晴彦 永江さゆり 田上律子

はじめに

- ・地域包括ケアの実現に向けた、医療・介護における情報共有基盤としてのICT利用は、不可欠な連携ツールとなっている。
- ・当院では、平成24年10月より地域医療連携システム（以下、「連携システム」）の導入を行い、電子カルテ情報の一部を、地域医療機関からも参照できる体制を構築している。

目的

- ・連携システムの評価と課題を明らかにする。

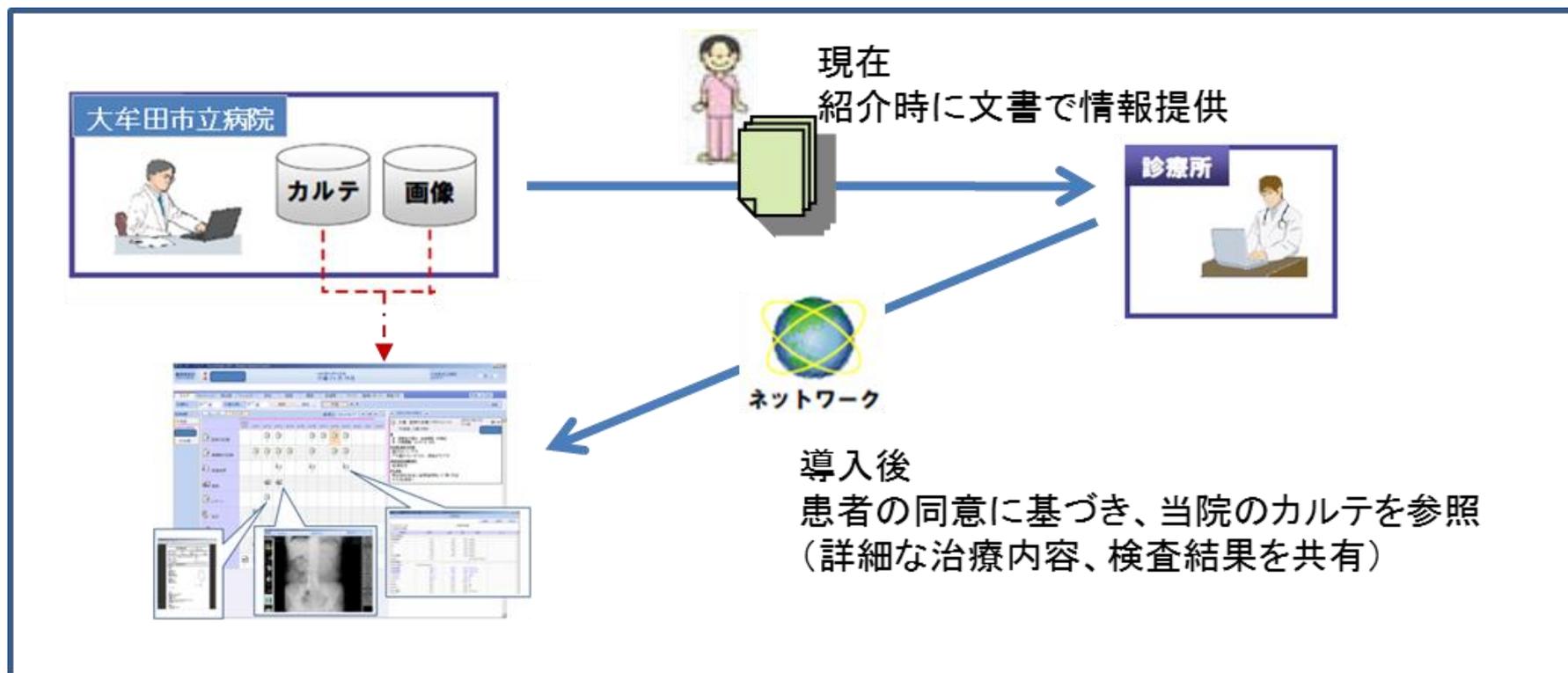
当院の概要

- ・30診療科 350床(7:1)
- ・がん診療連携拠点病院
- ・久留米大学教育関連病院
- ・災害拠点病院
- ・地域医療支援病院
- ・大牟田市は、熊本県荒尾市と隣接しており、荒尾市在住の患者さんが全体の約13%を占めるなど、県域を越えた連携が必要とされる地域である。

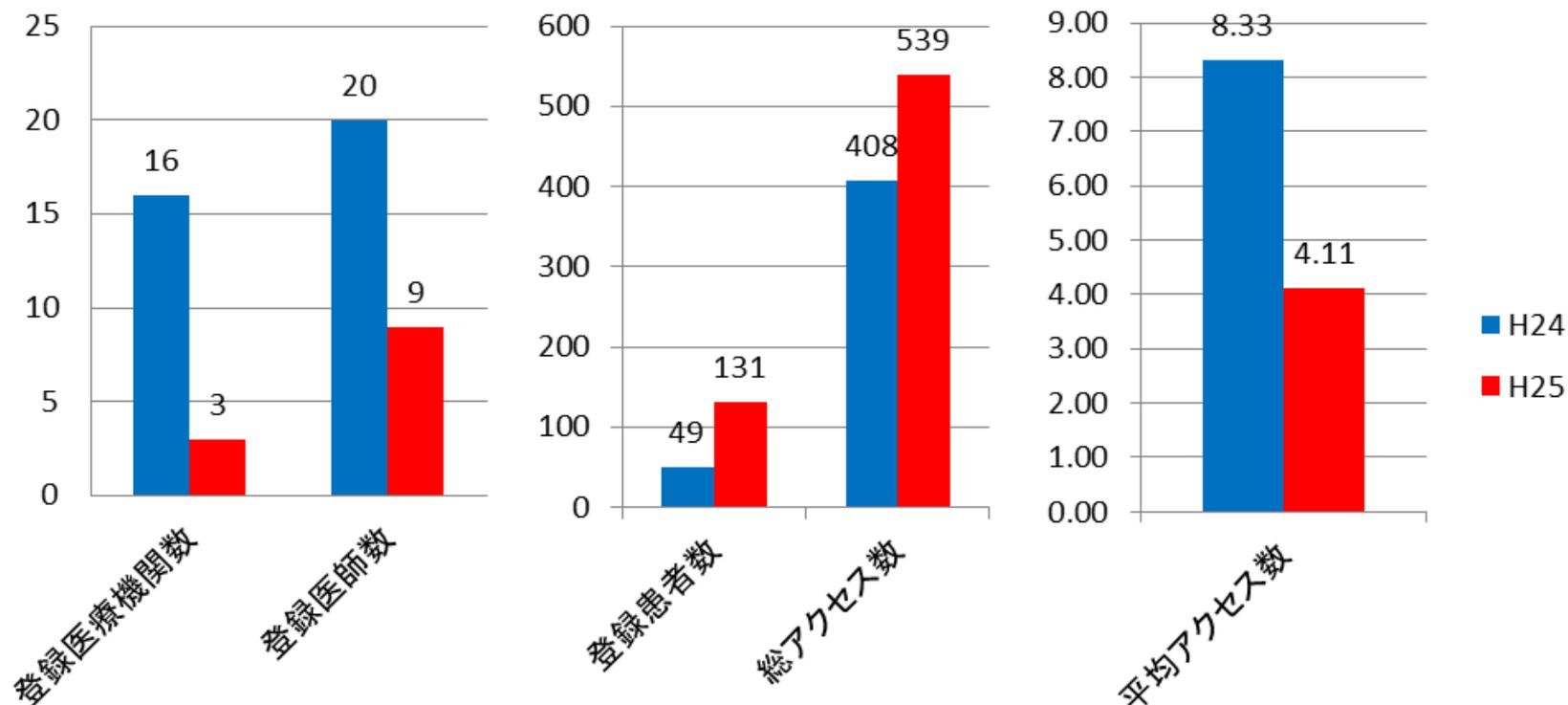


連携システムの概要

- ・同意が得られた患者の電子カルテを地域医療機関の登録医師から安全に保護されたインターネット回線を介して参照する。



現状(平成25年度末時点)



登録患者数や総アクセス数は増加。

しかし、登録医療機関数(医師数)や平均アクセス数は減少。

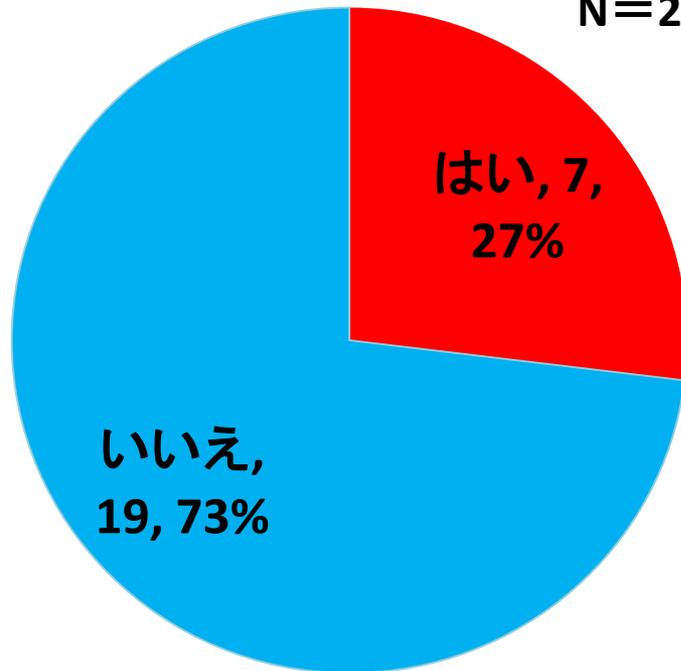
運用に関する委員会(2回/年)では、利用者より不満の意見もでている。

研究方法

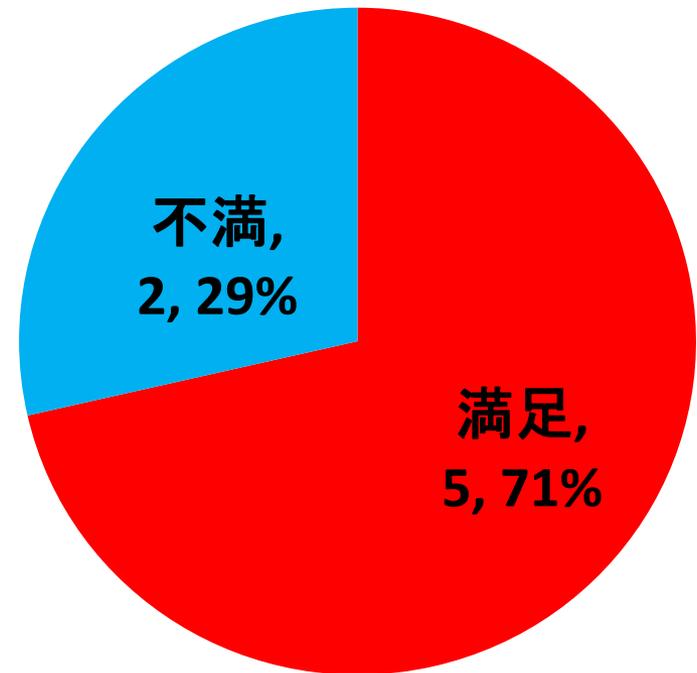
- 調査期間：平成26年4月～6月
- 対象：連携システムに登録のある医師
（20医療機関32名）
- 方法：FAXによる記述回答
- 実施状況：アンケート配布枚数 32枚
回答数 26件 回答率 81.3%

アンケート結果(1)

連携システムを利用したことがあるか
N=26



利用者の評価
N=7

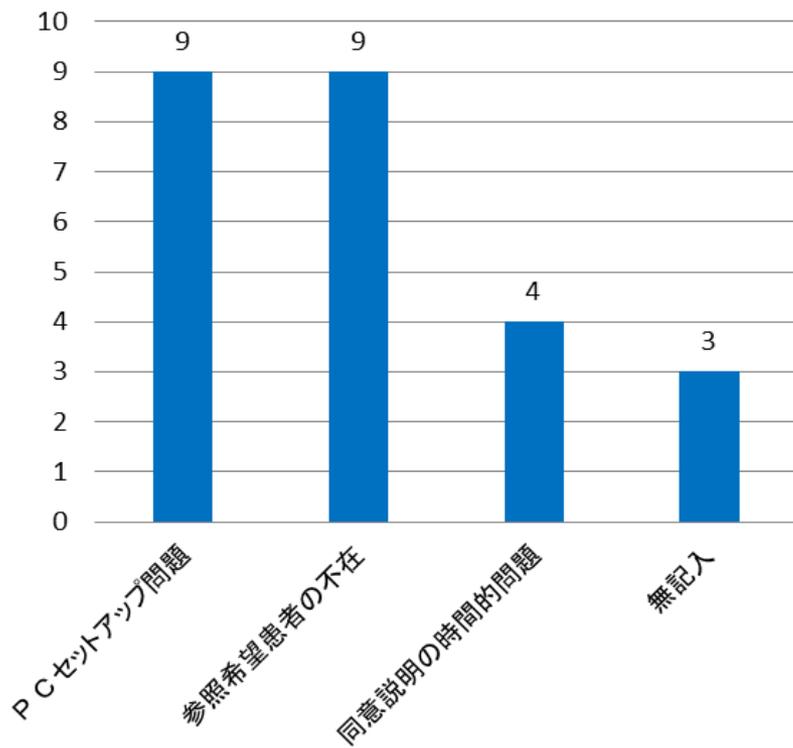


<不満の理由>

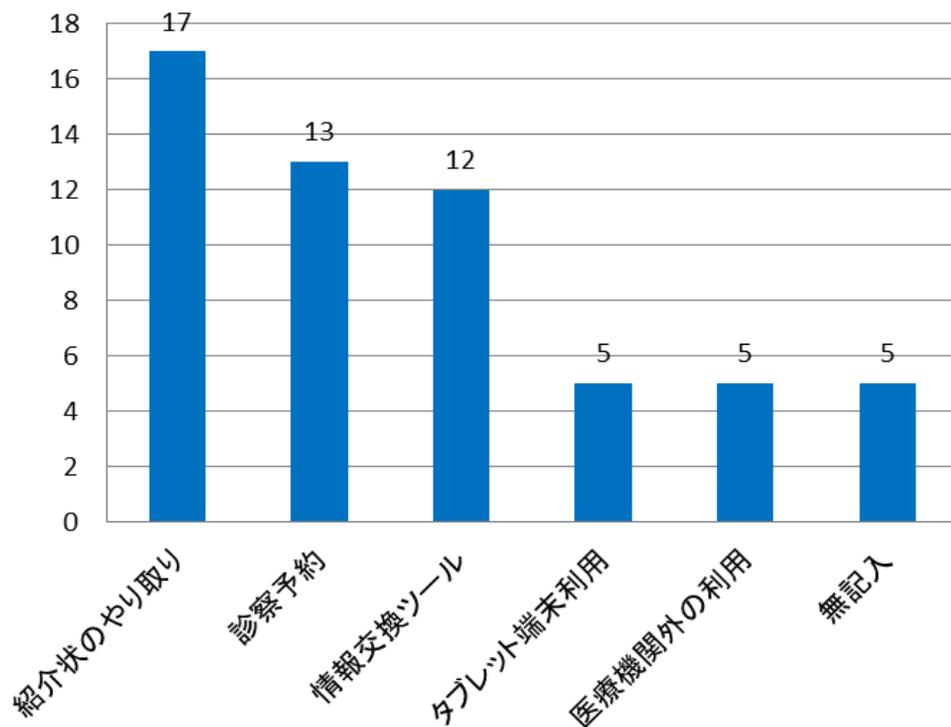
- ・診療録の参照不可
- ・サマリ（医師、看護師）の参照不可
- ・画像閲覧速度が遅い

アンケート結果(2)

連携システムを利用していない理由
(複数回答可) N=19



今後、連携システムに期待するもの(複数回答可)
N=26



考察

利用者の不満の原因として、医師・看護師の**記録**や**サマリ**の参照が出来ない事や画像閲覧速度が**遅い**ことがわかった。

→各部署と協議を密に行う必要性がある。

利用まで至っていない理由として、パソコンの**セットアップ**が完了していないことや患者への説明同意に時間を要し、**同意までつながらない**ということがわかった。

→事務局による定期的な登録医療機関訪問。

結論

＜評価・現状＞

・利用者の満足度が高いにも関わらず、利用まで至っていないケースが多い。

＜課題＞

- ① 閲覧範囲の拡大
- ② 画像閲覧速度のスピードアップ
- ③ 事務局によるパソコンのセットアップサポート
- ④ タブレット端末による利用
- ⑤ 医療機関以外の施設による利用
- ⑥ 県境を越えた医療機関との連携

おわりに

課題や要望に対する改善を行い、質の高い連携システムを普及することで、かかりつけ医機能の強化や在宅医療・介護連携の推進につなげていきたい。